



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成24年2月21日(火)

第2576回 例会

(本年度第29回)

例会場 東京第一ホテル鶴岡
(鶴岡市錦町 2-10)

例会日 毎週火曜日
(12:30~13:30)

2011-2012年度 国際ロータリー会長…カルヤン・バネルジー

クラブホームページアドレス◎<http://www.tsuruokarc.org/>

メールアドレス◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(2/28)のメインプログラム

会員スピーチ
牧 衛 君

次週(3/6)のメインプログラム

ゲストスピーチ
庄内支庁振興普及担当 笠原 裕 氏
「魚貝類の生態とその繁殖保護」

会長挨拶

青柳 孝治

2月も終盤になりました。人事異動の内示も始まり、一番早い所では信用金庫の人事異動が発表になっていましたが、来年の就職活動もまさかかりのようです。皆様方の企業・事業所においても、新年度の採用者も決まったことと思います。

皆様方の職場では、採用された新社会人に何を求めますか？

■近年、新社会人事に求められる事は？

①課題の発見力

- ・果たすべき仕事は何か？解決しなければならない問題は何か？
- ・広い視野で、課題を発見する力はあるか？

②コミュニケーション力

- ・人間がお互いに意思や感情、思考を伝達し合う力はどうか？
- ・相手の話を良く聞き、意見を述べることができるか？

③協調性

- ・利害や立場の異なる物同士でも、協力しあえるか？
- ・相手のことを考える力があるか？
- ・人のためにつくす事が出来るか？

④相手を読みとる力

- ・相手の本質を見抜く力はあるか？
(一番上手なのは、バーテンダーだそうです)

…等が求められていると言われております。

ペーパーテストでも判断できるようになっているようですが、面談が一番良いようです。皆様の職場ではどうですか？

新社会人としては、逃げないで突っ込んで行く事が求められているようです。

幹事報告

木村 節

○東京東江戸川IRC

◎観桜会のご案内

日時：4月7日(土) PM5:00集合

集合場所：都営地下鉄線 一之江駅ビル東口

出発場所：屋形船「あみ達」PM5:30出発

締切：3/13(火)

赤川花火大会が繋いだ希望の絆

渡部 芳幸 氏

皆さん、こんにちは。

2012年度社団法人鶴岡青年会議所 第46代理事長を仰せつかります、渡部芳幸と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。



本年、鶴岡青年会議所は、「凌雲の志～本質を見抜くJAYCEEが明日の地域を照らす～」のスローガンのもと、正会員83名でスタートさせていただきます。

本年は、ここ数年様々な議論を重ねてきた、公益社団法人格に移行をする予定であります。公益法人

出席報告

会員数	41名
出席	24名
出席率	58.54%
前々回確定出席率	70.00%

RI会長 カルヤン・バネルジー ■地区ガバナー 細谷 伸夫

■会長/青柳孝治 ■副会長/嶺岸禮三 ■幹事/木村 節 ■会長エレクト/阿部純次
■会報委員会/阿蘇司朗・阿部純次・嶺岸禮三

事務局：鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376

格を取得し、自らの運動を見つめ直す機会であると捉えております。

常に「この事業は地域に必要な物か」を強く意識しながら、おごる事なく、事業そのものの公益性を見つめ直します。

私たちが「今」しなければならない事。

それは、物事について本質を見抜く力を付ける事だと考えます。広い視野から様々な角度、距離で物事を見つめ直す事で、本質が見えてきます。切磋琢磨し自己を鍛え、志高いメンバーが集う鶴岡市青年会議所を構築して参ります。

「目指せ！感動日本一」を合い言葉に開催されてきた赤川花火大会は本年、第22回を迎えます。現状維持の考えで行えば、それは衰退への道のりです。先輩がたが築き上げた赤川花火大会を、私たちの手でさらに飛躍をさせるため、名実ともに日本一の花火大会にする為に、全身全霊をもって邁進して参ります。

その中で、鶴岡青年会議所の事業として「希望の光プロジェクト」を実施しました。

東日本大震災の時に、我々もOBの皆様、市民の皆様から多大なご支援を頂き、被災地に災害支援活動、炊き出しなどの支援に行ってきました。

そんななかで、被災地の小学校では修学旅行ができない状況だと聞きました。我々鶴岡青年会議所からできる事は何だろうと色々考えまして、メンバーで話し合い、石巻・南三陸の子ども達約400名を、赤川花火大会を通じて鶴岡に招待しました。少しでも元気と笑顔と勇気を持ち帰ってほしいという願いから、多くの団体や企業、行政、中学生ボランティアから協力をいただき実現させる事ができました。羽黒の宿坊組合の方にご協力をお願いして、宿坊に泊めさせてもらい、次の日羽黒山を登山し復興祈願もしてもらいました。

子ども達が赤川花火大会のときに見せた涙、帰る際に見せた笑顔。必ずや彼らが、東北復興の担い手を全うしてくれると感じております。

本当に最初は、こんなこと出来るんだろうかという不安の方が大きかったのですが、鶴岡市ボランティアセンターのセンター長で、我々のOBの村井先輩のご紹介を受け、石巻の方に行かせてもらいました。

やはり石巻の方は、行政がもうマヒしている状況で、こちらでこういう事をやりたいと申し出ても、その取りまとめが出来ない状況です。いくら行政といっても、自分も被災者ですので、やはりこういうのはできないのかなと思ったとき、空手道場の先生が自分も被災者でありながらもボランティア活動をしておられ、この方のご協力をお借りして、学校としては9校で募集をさせていただきました。

本当に、人の繋がりがなければ、こういう事業は

成り立ちません。

最新の花火は、2尺玉2発があがっております。赤川花火大会の会場であげられるのは、最大で1尺までです。2尺をどうやってあげたかという、後ろの田んぼであげております。正直な話、第9回の赤川花火大会のときに、2尺玉をそこであげたのですが、落下するという事故がありました。その際に、赤川集落の方々からの反対があり、2尺玉は禁止になりました。

20回の記念大会のときに、何とかもう一度2尺玉の花火が見たいという想いで、お願いをし「今年だけ」という約束であげる事ができました。

そして去年のこの「希望の光」をやるときに、どうしてももう一度あげたいということで、再度お願いし、了承を得る事ができました。打ち上げる花火には子ども達の願いを書いた短冊を貼り、希望の光という事で3発の花火をあげさせていただきました。

本気で想いを伝えると、相手にも想いは届くということが、我々にとって一番の励みになりました。

この事業については、今年は福島の子供達に声をかけて、引き続き行いたいと思います。

「凌雲の志」雲よりも高い志を持って、邁進して参ります。一年間どうぞよろしくお願い致します。



委員会報告

◆出席委員会

◎ゲスト

渡部芳幸さん(青年会議所 理事長)

金 紅蘭さん(米山奨学生)

◎メイクアップされた方々

本間喜美子・佐々木喆彦

スマイル 😊

塚原初男君 ロータリー財団からのポールハリスフェロー表彰(3回目)に感謝して

藤川享胤君 ①中国の娘が無事に帰ってきてくれました。②佐藤友行さん、阿部純次さん、加藤亨さんが無事ベトナムからお帰りになった事を祝して。

青柳孝治君 渡部さん、今日はありがとうございます。皆様方の活動に敬意を表します。今後ともよろしく。

阿蘇司朗君 鶴岡青年会議所、渡部理事長に例会出席をお願いしました。又、突然のプロフィールの紹介を佐藤友行さんに対応して頂き、ありがとうございました。